

第1章 平成 28 年度決算総括

1 決算の概要

平成 28 年度の我が国の経済は、アベノミクス取り組みの下、企業収益が過去最高の水準となるなど、雇用・所得環境が大きく改善し、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等を注視する必要があるものの、緩やかな回復が続くことが期待されています。

こうした状況のなか、政府は、少子高齢化という構造的な問題を克服するため、一億総活躍社会の実現に向けた取り組みを進め、経済の好循環を一時的なものに終わらせることなく、働き方改革による生産性の向上を図り、成長と分配の好循環を創り上げるよう取り組んできました。

本市では、平成 28 年度は、江南市戦略計画に掲げる将来像の実現に向け、新たな政策課題や市民・地域のニーズなどに的確に対応するため、財政運営上の重点取組事項に沿った事業を展開するとともに、施政方針に掲げた 9 つの分野となる「教育の分野」、「高齢者の分野」、「子育ての分野」、「健康の分野」、「暮らしの分野」、「危機管理の分野」、「経済の分野」、「環境の分野」、「改革の推進」について、取り組みを進めてきました。

一般会計については、当初予算額 272 億 5,403 万 8 千円で、前年度当初予算額 261 億 9,551 万 3 千円と比較して 10 億 5,852 万 5 千円(4.0%)の増額になりました。また、補正予算は、9 回編成し、総額 16 億 8,627 万 8 千円を増額、これに平成 27 年度からの繰越明許費繰越額 4 億 3,143 万円を加えて、最終予算額は 293 億 7,174 万 6 千円となりました。この額は、前年度最終予算額である 288 億 1,538 万 4 千円と比較しますと、5 億 5,636 万 2 千円(1.9%)の増額となりました。

決算においては、歳入 286 億 6,616 万 2 千円(前年度に比較し 1.0%増)、歳出 277 億 5,033 万 5 千円(前年度に比較し 1.7%増)となり、歳入歳出差引額は 9 億 1,582 万 7 千円です。この額から翌年度へ繰越すべき財源 6,774 万 5 千円を控除した実質収支額は 8 億 4,808 万 2 千円となり、本年度実質収支額より前年度実質収支額 10 億 5,362 万 3 千円を差し引いた単年度収支額は、△2 億 554 万 1 千円となりました。また、財政調整基金へ 5 億 2,814 万 7 千円を積み立て、5 億 5,941 万 9 千円を取り崩したことにより、実質単年度収支額は△2 億 3,681 万 3 千円となりました。

特別会計については、当初予算額 218 億 2,490 万 6 千円で、前年度当初予算額 219 億 4,470 万円と比較して 1 億 1,979 万 4 千円(△0.5%)の減額になりました。また、補正予算は、8 回編成し、総額 1 億 3,086 万 5 千円を増額、これに平成 27 年度からの繰越明許費繰越額 1,638 万 7 千円を加えて、最終予算額は 219 億 7,215 万 8 千円となりました。この額は、前年度最終予算額である 223 億 1,359 万 1 千円と比較しますと、3 億 4,143 万 3 千円(△1.5%)の減額となりました。

決算においては、歳入 212 億 8,794 万 3 千円(前年度に比較し 1.6%減)、歳出 203 億 3,536 万 2 千円(前年度に比較し 2.8%減)となり、歳入歳出差引額及び実質収支額は 9 億 5,258 万 1 千円です。本年度実質収支額から前年度実質収支額 7 億 618 万 5 千円を差し引いた単年度収支額は、2 億 4,639 万 6 千円となりました。

歳入面では、給与所得や企業の収益増加による市民税(個人・法人)の増、家屋の新增築による固定資産税(家屋)の増、新税率の適用及び重課の導入による軽自動車税の増など、市税全体では 1.3%の増収となりました。地方消費税交付金については、平成 27 年度に大幅に増加した反動により、11.2%の減収となりました。地方交付税については、普通交付税が 4.1%の減、特別交付税が 4.7%の増となり、全体では、2.9%の減収となり、臨時財政対策債については、18.5%の減収となりました。

歳出面では、全体事業として、市有施設を維持するための施設長寿命化については、市営力長住宅(A 棟)外壁等改修工事を始め 5 事業を実施し、5 施設の長寿命化を図りました。

生活環境、産業分野では、道路照明灯の LED 化、消防団の充実・強化、いこまいCARの運行及び生活交通バス路線維持費の補助、企業誘致等の推進、環境基本計画の改訂、ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57運動」などの事業を実施しました。

健康、福祉分野では、少子高齢社会への対応などの行政需要が増加する中で、介護保険の保険給付、古知野東小学校学童室等の建設、予防接種の充実、国民健康保険の保険給付、子ども医療費助成の拡大、後期高齢者への医療支援、臨時福祉給付金等の給付などの事業を実施しました。

都市生活基盤分野では、都市計画道路(布袋本町通線)の整備、布袋駅東地区交通結節点の整備、布袋駅付近鉄道高架化整備、橋りょうの長寿命化、公共下水道の管きよ布設工事、空家等対策の推進などの事業を実施しました。

教育分野では、地域学習活動支援(こども土曜塾、こども未来塾)の開催、集会所建築費の補助、国指定重要文化財「曼陀羅寺正堂」保存修理の補助、新体育館建設に向けた本体工事などの事業を実施しました。

経営、企画分野では、シティプロモーションの実施、公共施設再配置計画策定への着手、布袋駅東複合公共施設基本計画の策定、行政事業レビューの開催、地方公会計の推進、社会保障・税番号制度に対応するためのシステム改修、情報セキュリティの強化対策などの事業を実施しました。

今後も、景気の動向に注視しつつ、社会経済情勢に対応しながら、積極的な財源確保に努めるとともに、限られた財源の中で、事業の有効性、効率性、必要性を検証し、創意工夫を凝らしながら、事業の取捨選択に取り組み、効率的で効果的な財政運営を進めていきます。

2 決算の総括表

歳 入

(単位:千円、%)

会 計 別		平成27年度	平成28年度	増減額	増減率
一 般 会 計		28,396,907	28,666,162	269,255	1.0
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	11,940,111	11,714,395	△ 225,716	△ 1.9
	横 田 教 育 文 化 事 業	1,242	1,235	△ 7	△ 0.6
	公 共 下 水 道 事 業	2,341,446	1,918,783	△ 422,663	△ 18.1
	土 地 区 画 整 理 事 業	33,485	28,335	△ 5,150	△ 15.4
	介 護 保 険	6,245,094	6,444,552	199,458	3.2
	後 期 高 齢 者 医 療	1,067,865	1,180,643	112,778	10.6
	小 計	21,629,243	21,287,943	△ 341,300	△ 1.6
合 計		50,026,150	49,954,105	△ 72,045	△ 0.1

歳 出

(単位:千円、%)

会 計 別		平成27年度	平成28年度	増減額	増減率
一 般 会 計		27,284,708	27,750,335	465,627	1.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	11,336,712	11,094,667	△ 242,045	△ 2.1
	横 田 教 育 文 化 事 業	1,242	1,235	△ 7	△ 0.6
	公 共 下 水 道 事 業	2,340,557	1,918,759	△ 421,798	△ 18.0
	土 地 区 画 整 理 事 業	33,485	28,335	△ 5,150	△ 15.4
	介 護 保 険	6,147,318	6,119,139	△ 28,179	△ 0.5
	後 期 高 齢 者 医 療	1,062,871	1,173,227	110,356	10.4
	小 計	20,922,185	20,335,362	△ 586,823	△ 2.8
合 計		48,206,893	48,085,697	△ 121,196	△ 0.3